２０１９年０７月０４日

一般社団法人　日本自動車工業会

一般社団法人　日本自動車車体工業会

**商用車架装物リサイクルに関する自主取組みの進捗状況について**

本取組みは両工業会共同で2002年11月以降実施してきたものである。活動概要は以下のとおり。

1. リサイクル設計の推進　： ((1)車体メーカー各社にて製品展開拡大中。

(2)易解体性向上・解体マニュアル充実のため平ボデー、バン型車解体実験を実施。

設計への反映、解体マニュアル記載内容見直しを推進。

(3)環境基準適合ラベルの貼付目標80%達成済み。**(2018年度90.3%)**

1. 重金属4物質の使用削減 :鉛、六価クロム、水銀、カドミウムの4物質すべて目標達成を継続。
2. リサイクル・適正処理の推進 :協力事業者制度の維持、継続中。
3. 情報提供、啓発活動の推進 　:関連事業者との情報交換継続。協力事業者制度参加事業者リストの配布継続、

解体作業見学会実施、シャシー・架装物工場見学会実施。

|  |  |
| --- | --- |
| 自主取組みの内容 | 進捗状況 |
| **１．リサイクル設計の推進**  (1)易解体性向上および適正処理の推進  〔目標：易解体性バンの試作、製品展開〕  (2)解体マニュアル作成  〔目標：主要3機種の大半をカバー〕  「帆ウイングボデー  解体マニュアルの例」 | ①各社にて各種易解体性バンの開発、製品化を展開中。  ②易解体性バンは**2018年度車工会会員バン生産の90.5%(74,893台)**  ③易解体性向上のため、解体業者団体と連携して平ボデー、バン型車等の解体作業  見学会を実施、解体時間短縮のための課題を抽出、製品に反映し架装メーカー各社にフィードバック。    ①解体事業者等から要望のあった、主要3機種(レントゲン車、冷蔵・冷凍バン、  タンクローリ)の解体マニュアルについて  対応完了。**(特装車製品など新規作成)**  ②車工会会員主要各社ホームページにて  公開中。  **累計公開件数:201件(前年比+9件)**  ③解体事業者団体と連携、解体作業見学会を通じて得た作業実態をマニュアルへ反映。  解体作業手順 記載例  　①サイドガード、フェンダー、泥除け等の艤装品を取り外します。  　②車幅灯、車高灯・庫内灯・路肩灯  等の電装品を取り外します。  ③Ｕボルト、連結ボルト・ブレース  　　等の連結金具を取り外します。  ④クレーン等を使用して  ボデーをシャシーから  取り外します |
| (3)環境基準適合ラベルの設定  冷凍ウイング車  架装物  「冷凍ウイング車解体マニュアルの例」  〔目標：車工会会員生産車の80%に貼付〕  < 環境基準適合ラベルの要件 >  ①3R判断基準ガイドラインの作成  ②解体マニュアルの作成・公開  ③製造業者名の表示  ④樹脂部品材料名の表示  **２．重金属４物質の使用削減**  (1)鉛  〔目標：使用量　2002年度60g/台  →2006年度30g/台に半減〕  (2)水銀  〔目標：2005年1月以降使用禁止(照明装置等を除く)〕  (3)六価クロム  〔目標：2008年1月以降使用禁止〕  (4)カドミウム  〔目標：2007年1月以降使用禁止〕  **３．ﾘｻｲｸﾙ・適正処理の推進**  (1)協力事業者制度の構築と拡充  〔目標：制度への登録拡充と 各ブロックへの適正配置〕  **車工会ホームページに掲載**    **４．情報提供、啓発活動の推進** | ・2004年3月、環境基準適合ラベルの要件を設定し、2005年度以降、**毎年目標80%を達成中**。      環境基準  適合ラベル  jabia環境基準適合ラベル  製造業者名表示  樹脂材料名表示  **バン型車の表示例**  ※2016年1月より、環境基準適合ラベルは、環境省ホームページ「環境ラベル等  データベース」へ登録、掲載中。  2005年度より目標達成を継続。  ＜鉛フリー化の事例＞ダンプ、タンクローリ等の電着塗料への切替＞  2004年末より目標達成を継続。  　＜水銀フリー化の事例＞高所作業車の水平保持用のスイッチ＞  2007年末より目標達成を継続。  ＜六価クロムフリー化の事例＞金具類(例：蝶番、ボルト、ナット、油圧ホースガードワイヤ＞  2006年末より目標達成を継続。  ＜カドミウムフリー化の事例＞マーカーランプ、タンクローリ自動開閉装置の温度ヒューズ＞  **⇒毎年重金属４物質の目標達成が継続されているかフォローアップ活動を実施中。**  ①協力事業者について、全国各ブロックへの適正配置を継続。  ②解体事業者の要望をふまえて丸ごと処理事業者ならびにタンクローリ残液の  分析・処理・洗浄事業者も維持。  ③協力事業者の状況を定期的に把握し、必要に応じ車工会ホームページを更新、  情報提供を継続中。    (1)協力事業者参加事業者リスト改訂版作成・配布。  （解体事業者等に配付。(4月：10,000部)）  (2)解体事業者への情報提供。  　 商用車架装物処理に関して解体事業者団体等と作業現場の見学会・意見交換を継続。また、解体事業者団体に対してシャシー・架装物工場見学会を実施(11月)。  　※２０１９年度についても実施予定 |